



うつす、伝える  
神仏と信仰

2023年 2月7日(火) → 2月10日(金) 会期中無休

会場：奈良教育大学 教育資料館

時間：10時～17時(最終日は13時終了)

入館：無料

主催：奈良教育大学大学院修士課程「伝統文化の継承と発信」

奈良交通市内循環バス「高畑町」下車

TEL：0742-27-9221(造形芸術学研究室)  
0742-27-9297(教育資料館)

奈良教育大学大学院修士課程「伝統文化の継承と発信」

# うつす、伝える 神仏と信仰

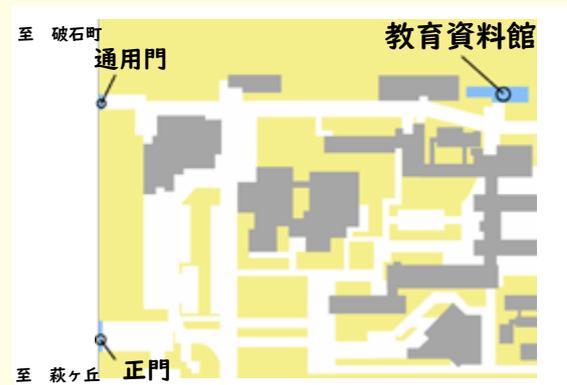


愛知・日吉山王社蔵 山王神像（聖真子）

神仏への信仰は、神像・仏像やその銘記により具体的な形をとります。模造（レプリカ）や拓本、写真によりその造形は写され、<sup>うつ</sup>模され、あるいは移されることにより、時空の広がりを持ち、伝えられてゆきます。鎌倉時代に滋賀・日吉大社神像の像容を写した愛知・日吉山王社の山王神像（聖真子）をはじめ、初公開の奈良教育大学蔵品を含めた拓本・拓本模写・石膏像（3Dプリンターによるレプリカを含みます）・写真により、うつし伝えられた神仏への信仰を展示公開します。とりわけ拓本模写により、銘記の手本となった筆跡に復元的に肉薄することで、うつされた神仏・信仰の始原を体感していただこうと思えます。



奈良教育大学図書館蔵 法隆寺釈迦三尊像光背背面銘記拓本



奈良教育大学教育資料館HP↑